

1	審議会名	第1回 塩田地域協議会 (塩田地区自治会連合会懇談)
2	日時	平成23年4月21日 午後1時30分から午後4時30分まで
3	会場	上田市塩田公民館大ホール
4	出席者	伊藤委員、大口委員、岡村委員、甲田委員、小林委員、清水委員、関田委員、竹下委員、玉木委員、中村委員、南雲委員、西沢委員、丸山委員、南委員、峯村委員、宮沢委員、山極委員、塩田地区自治会連合会29自治会長
5	市側出席者	神林塩田地域自治センター長、海瀬地域振興政策幹、志摩センター長補佐
6	公開・非公開等の別	公開
7	傍聴者	4人 記者 0人
8	会議概要作成年月日	平成23年4月28日

協議事項等

1 開 会 (神林自治センター長)

2 地域協議会長あいさつ

東日本大震災により亡くなられた皆様にお悔やみを申し上げるとともに、被災された皆様にお見舞いを申し上げ、塩田地域協議会としても支援してまいりたい。早い時期に塩田地区自治会連合会との意思疎通を図るため、本日懇談会を開催したので地域の課題などについて、忌憚のない意見をお聞かせいただきたい。本日の懇談会は、地域協議会を理解していただき協議会との協働により地域の発展に結び付けていただきたい。共に学び、協力してまいりましょう。

3 塩田地区自治会連合会長あいさつ

東日本大震災については、地域協議会長と同じ気持ちであるが別所温泉は厳しい状況にある。行事やイベントについては、自粛ムードもあるが経済の活性化に結びつくように例年通り実施して、東日本に元気を発信していきたい。

4 協議

(1) 塩田地区自治会連合会と地域協議会の懇談

ア 自治会連合会と地域協議会による意見交換

塩田地域協議会の概要と活動状況について説明(事務局)と会長による補足説明

(補足説明) 上田市は、平成18年3月6日に合併して、地域差があってはならないことから9地域に地域協議会を設置した。同年10月の発足と同時に、「地域まちづくり方針」の諮問を受けて翌年の3月に答申をしてきた。現在は観光、教育機関の充実、農村型エコタウン構想、地域の振興・活性化、札所めぐり事業、ため池の活用事業などに取り組んでいる。

(意見交換)

(自治会連合会) 別所温泉地区では、自治会連合会を中心に活動を展開しており課題などは、自治会から自治会連合会を経由して地域協議会での解決と考えている。地域の課題としては、買い物・交通弱者への支援などが考えられる。金目のこととなると、協議会へ依頼することとなると思うが地域の共通認識を持つことが重要である。

(自治会連合会) 地域では、高齢化が進行しており公的なイベントへの参加者も少ない。地区では106戸、315人いるが70歳以上が90人、65歳以上が全体の半数など限界集落である。防災訓練をしているが、昼間いるのは高齢者だけで頭を痛めている。

(自治会連合会) 自分の地区も高齢化が進行している。構成は380戸、1,230人であるが内70歳以上が22%、80歳以上が10%(44戸)、88歳以上は44人という状況である。「支えあいマップ」は、個人情報扱いが難しく使い勝手の悪い制度である。市から地図だけもらって、自治会で使いやすいようにしたい。他には、除雪作業などの参加不足に苦慮している。

(自治会連合会) 自治会では、高齢者世帯などの付近を通るときは、注意して見るようにしている。

自治会の役員のみが個人情報を持っているようにしている。

- (委員) 自分の自治会では、関係者に制度を十分理解してもらいカードに個人情報を入力している。保管は、自治会長と民生児童委員が行い、自治会長と民生児童委員で協議・連携して行っている。
- (自治会連合会) 市の制度から漏れた人に対する対応ができない。親切とお節介の難しさがある。
- (委員) 高齢者世帯の安否確認については、観覧版が回ってればいいと思っている。親族からも言われている部分があるので。
- (自治会連合会) ため池の泥流しにあっては、下流への影響を心配している。満水時に水門を開けられるように、水路の改良工事など土地改良事業で解決できないものか。汚泥のしゅんせつ対策や土井の工事に問題がある。
- (自治会連合会) ため池の貯水能力の低下があり県の事業は、工事費が高額になるので行政の支援ができないものか。
- (会長) ため池活用委員会で検討したい。
- (自治会連合会) 地域の活性化には学校の活用、旅情を誘うような別所温泉の活用が考えられる。また、イベントなどで高齢者が出席できるような雰囲気 gewünscht である。別所線電車の存続については、統一運賃などがあればいい。
- (自治会連合会) さくら国際高等学校の入学式に出席したが、問題を抱える子どもに高校を卒業させている学校の姿勢に感激した。
- (自治会連合会) 自治会では、消防団員のなり手が少なく、対策委員会を立ち上げて検討したが、チラシを回覧するような一般的なものでは集まらないので市として、魅力を発信してもらいプラスの魅力をPRして欲しい。
- 市の指定木の老化が進行してきており、枯れ枝が落下して住宅に損傷を与えた事例があり、自治会として保険には入っているが、市としても保険に入ってもらいたい。
- 自治会に配布を依頼されている広報には、左綴じと右綴じの物があり扱いにくいので統一したものにしないか。
- (会長) ある自治体では、誰でもいいからと消防団に入団させた結果として、飲酒運転による事故が起こったといわれている。
- (委員) 指定木は、地域の財産ではなく市の財産としてもらいたい。
- (自治会連合会) 消防団への勧誘にあたっては、市の職員が入りたがらないなどメリットがない。例として、入団すると自治会費免除という話を聞いたことがあるので、メリットを増加してはどうか。

イ 各委員会報告

地域振興委員会

地域の課題としては高齢者対策、買い物・交通・投票難民対策などがある。民生児童委員に協力をいただき実態をアンケート調査したいと思っている。上田バスの減便については、対策として民間の「お買い物バス」などの活用が考えられるので、関係機関と意見交換をしたい。

地域交通委員会

上田バスの減便については、昼間の利用者が少ないことが原因だと理解しているが、自治会などから利用促進の声が上がってこない中で交通弱者対策に力を入れていきたい。

ため池活用委員会

塩田平のため池群は、「全国ため池百選」に選定されたこともあり「わがまち魅力アップ応援事業」を活用して、ため池マップの作製やため池表示板の設置などを行い、ため池資源の有効活用について検討していきたい。

広報委員会

地域協議会の活動を、より多くの住民に理解してもらうため「協議会だより」を発行するので意見をお聞かせいただきたい。

(2) その他

(委員) 別所線電車存続住民アンケートにおいて、存続に向けて金銭的支援の意向を示す意見が約12%あった。自治会内でそのような声が出ていないか又は、協議会として協議してもらいたいなど住民の声を聞かせていただきたい。

(会長) 本日のような懇談会を年に2回開催することを目指している。

塩田地区自治会連合会 29 自治会長退席

5 その他

(委員) 協議会委員として、行政懇談会を傍聴できないか。

(事務局) 行政懇談会の主催者と協議が必要となる。

(委員) ため池マップの作製にあたり、若干委員の応援をいただきたいのでよろしくお願いしたい。

(会長) 構成や人選については、ため池活用委員会で決めていただきたい。

(委員) 地域協議会として、別所線電車存続期成同盟会に加入することを機関決定しているのか。

(会長) 機関決定はしていない。

(事務局) 協議会(附属機関)として、期成同盟会に加入することには若干検討を要するので関係機関との調整が必要である。

(委員) 本日出された課題については、どのように進めていくのが決めてもらいたい。

(会長) 地域振興委員会で検討していただき、専門委員会へお願いすることもありうる。

6 閉会

* 会議概要は原則として公開します。会議終了後、1週間以内に行政改革推進室へ提出してください。

* 非公開及び一部非公開としたものについては、その理由を記載してください。